

# アま市議会だり



<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>



イルミネーションフェスタ 2013 (11月30日～1月4日 美和文化の杜にて)

12月定例会のあらまし

2ページ

平成25年度補正予算

3ページ

コミュニティ防災センター指定管理者

4ページ

市政を問う(12議員が一般質問)

5ページ

意見書を国に提出

13ページ

# 12月定例会のあらまし

## 一般会計に2億7,516万円を追加 病院事業会計に3億7,622万円追加支出など

12月定例会は、11月28日から12月24日まで開かれました。

市長から条例の制定・一部改正、一般会計補正予算など18件が提案され、すべて原案のとおり可決しました。

また、議員より国への意見書提出議案が2件出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

そのほか、請願16件、陳情2件を審議し、請願1件を採択、陳情2件を採択と決定し、27日間の会期を閉じました。

### 子

ども・子育て支援法に基づき、子どもや

子育て家庭の支援のための施策を総合的・計画的に推進するための会議を設置する「あま市子ども・子育て条例」が制定されました。

### 一

般会計の補正予算を可決しました。

2億7,516万8千円を追加し、2億6,810万9千円としました。増額された主なものは、病院事業会計支出金が3億7,622万円の増額、介護基金緊急整備等臨時特例基金事業費補助金が3千万円の増額などです。減額された主なものは、職員人件費が1億1,891万8千円の減額、国民健康保険と後期高齢者医療の両特別会計への繰出金が合わせて1億7,776千円の減額です。（3ページに掲載しています。）

### 任

期満了を迎える人権擁護委員候補

者の推薦については、菱田育夫氏（新任）を適任と答申しました。

### 一

般質問は、12月4日に行われました。

26人の議員のうち、12人が登壇。市の行政全般について多岐にわたる質問が出されました。（質問の内容は6ページから11ページに掲載しています。）

### 下

萱津・坂牧・上萱津の各コミュニティ防

災センターの指定管理期間満了により、期間を更新する議案が議決されました。（4ページに掲載しています。）

# 平成25年度補正予算

一般会計  
 国民健康保険特別会計  
 介護保険特別会計(保険事業勘定)  
 後期高齢者医療特別会計  
 病院事業会計

2億7516万8千円増額  
 6億178万8千円減額  
 1億222万9千円増額  
 4億598万8千円減額  
 3億7622万円増額

平成25年度一般会計、三つの特別会計および病院事業会計補正予算は、総額6億5284万1千円を追加するもので、すべての会計において原案のとおり可決されました。

## 主な質疑

### 一般会計

#### 総合型地域スポーツクラブ

**問** クラブの事務所を七宝プールに置く理由は。  
**教育部長** 行政との連携が不可欠であり、総合型地域スポーツクラブの担当者のある七宝総合体育館と隣接する七宝プールに決定した。



七宝プール

#### 子ども子育て支援事業計画策定費

**問** 条例では委員は16人となっているが、委員報酬が14人分の理由は。  
**子育て支援課長** 2名は市職員を予定している。

#### 病院事業会計

#### 国県補助金

**問** 国県補助金3億6300万円を減額し、同額を企業債として起債しているが、来年度補助金交付の見込みは。  
**市民病院事務局長** 新築工事1回目の入札不調により工事着手が遅れ、補助対象箇所の実施ができないため、県補助金の今年度交付はなくなった。来年度は交付される見込みのため、同額を来年度

予算に計上する。

**問** 補助金が交付された段階で企業債はいったん返還するのか。  
**山田副市長** 企業債をいったん返還するという

ことではなく、26年度の補助金を減額して企業債を起債するので、全体の財源構成は変わらない。

#### 出資金

**問** 補正の必要性と今後の見込みは。  
**市民病院事務局長** 会計制度変更に伴い、引当金や長期前受金の適用が要

請されており、結果として負債が資産を上回ることになることから、資本造成が必要となった。今後、同様の資本造成は発生しない見込み。

**問** 貸付金ではいけないのか。  
**管理課長** 一般会計から借りるといった性質のものではなく、病院の資本に積むものである。

**問** 後に返してもらえないのか。  
**管理課長** 病院事業を運営している間はお返しすることはない。

# 下萱津・坂牧・上萱津の 各コミュニティ防災センター

## 指定管理者を指定

甚目寺地区にある3つのコミュニティ防災センターの指定管理者の指定期間が、平成26年3月31日で満了することから、同年4月1日から3年間の指定管理者に、それぞれ3地区のコミュニティ推進協議会を指定する議案が市長より提出されました。

### 主な質疑

**問** 各センターの25年度の年間指定管理料は。

**企画財政部長** 下萱津は307万3千円、坂牧は198万5千円、上萱津は216万4千円。

**問** この3施設は今後も存続させるといふことか。

**企画財政部長** 3年間は指定管理をお願いするので、今後とも存続させる方針である。

**問** 正則コミュニティセンターは、施設を使用する団体が施設するなどし、管理人を置いていない。同様にすれば指定管理料を安くできるので。

**企画財政部長** 3施設は絶えず人が出入りするオープンスペースがあり、管理人による管理が必要である。

### 討論(要旨)

#### 【賛成討論】

**石田良雄** 本案は、3施設の指定期間満了により、期間を更新するためのものであり、指定管理者制度自体を問うものではない。

3協議会とも地域のために住民が力を合わせて運営されており、施設開放時間以外に災害が起きた場合、いち早く避難所として使えるメリットもある。

#### 【反対討論】

**松下昭憲** 3施設に管理料として年間700万円も支出している。旧美和町の正則コミュニティセンターは貸し館制度であり管理人がいない。

実際に3施設を見たが、2カ所はカラオケを歌っている人が2人、1カ所は三味線を弾いていた人が2、3人であったにもかかわらず、ずっと管理人を置いてやっている。ばらまき以外の何物でもない。

### 採決結果

賛成多数により、原案のとおり可決。



上萱津コミュニティ防災センター



**橋口 紀義** 議員(9ページ)

1. 児童虐待と高齢者虐待について
2. 心の健康推進について

**倉橋 博** 議員(10ページ)

1. 都市計画道路七宝蟹江線はいつ開通するか
2. 防犯対策について

**石田 良雄** 議員(10ページ)

1. 市税などの徴収および欠損処分について

**後藤 幸正** 議員(11ページ)

1. 巡回バスの運行について

**柏原 功** 議員(11ページ)

1. 被災者支援システムの早期導入を!

**藤井 定彦** 議員(6ページ)

1. あま市民病院の運営について

**加藤 正** 議員(6ページ)

1. 小児指定慢性疾患医療費助成制度の創設

**加藤 哲生** 議員(7ページ)

1. 子ども医療費無料化の拡大を

**寺本 隆男** 議員(7ページ)

1. 仮称「市民活動センター」の早いオープンを

**櫻井 信夫** 議員(8ページ)

1. まちづくりロードマップの取り組みについて

**野中 幸夫** 議員(8ページ)

1. 小中学校の給食について

**花木 敏行** 議員(9ページ)

1. 緊急地震速報を聞いたら





## あま市民病院の運営について



藤井 定彦 議員

**問** 2回目の入札に当たり設計の変更点は、  
**市民病院事務局長** 労務費や建設資材の単価を見直し、造成工事と関連する部分を一部変更した。  
**問** 建設工事の工期および

び工程、開院の時期は、  
**市民病院事務局長** 新築工事の契約を平成25年11月22日付で締結したもので、工期は11月23日から平成27年6月30日まで。平成25年度には、くい工事に着手し、平成26年度当初から、地下階から順に屋上の電気機械室まで躯体・内装工事を行い、平成27年度に、外構工事や設備などの試験・検査を行う予定。  
開院時期は、建物完成

後に業務や機器のリハールを初めとした移転などの開院準備に約3カ月程度要し、計画どおり平成27年度中の開院を予定している。  
**問** 新病院の経営、運営についての思いは。  
**市長** 病院の建て替えは、公約の施策の中でも掲げている。良質な医療を継続的かつ安定的に提供できるように、医師の確保に努力し、経営健全化に向けた経営

基盤の強化を図るため、平成27年度開院に向けて引き続き全力で取り組んでいく。

## 小児指定慢性疾患医療費助成制度の創設



加藤 正 議員

**問** 全国には、数は少ないが、「ぜんそく等小児指定慢性疾患医療費助成制度」として、国の小児慢性特定疾患治療研究事業には該当しないが、継

続的な入通院を必要とする児童への、医療費助成制度を創設している自治体もある。  
あま市においては、小学校6年生までの医療費無料制度により、安定的に医療費が助成されている。しかし、ぜんそくや腎疾患などの慢性疾患は、18歳、場合によっては20歳到達時まで、長期的に高額な医療費の負担

が必要となる。また、アレルギー疾患などについては、疾患数が増加傾向にあり、このような疾患を抱える家庭の経済的負担を少なくするため、助成制度が必要だと思いが、あま市の考えは、  
**市民生活部長** 現在、県が主体で行っている国の小児慢性特定疾患治療研究事業は、基準に該当すれば補助の対象となるが、ある程度症状が緩和すると対象外となる。そ

の方を対象に独自の制度として、医療費の負担軽減のための助成を行っている自治体もあることは承知している。この「ぜんそく等小児指定慢性疾患医療費助成制度」を実施している自治体は、全国に数カ所という状況である。今後さまざまな角度から、引き続き研究をしていく。



市民病院小児科窓口

部活動中の中学生



## 子ども医療費無料化の拡大を



加藤 哲生 議員

**問** 中学校卒業まで入・通院無料は、県内54市町村の中で42市町村が実施している。あま市で完全無料化を中学校卒業までの負担になるのか。財政

的にはどのように考えているのか。  
**民生生活部長** 無料化を拡大した場合の費用は9000万円から1億円程度になる。医療費の支払いが将来にわたって増加することから、財政的に大きな影響を及ぼすと考える。  
**問** 市には貯金がある。財政調整基金などの基金は合計で約93億円ある。完全無料化拡大の対象者は2540人であり、安

心して子育てしていけるまちづくりの一環として、9000万円は高くないと考えるが。  
**企画財政部長** 市民病院など、やらなくてはいけない事業がある。十分に慎重な検討が必要である。  
**問** 完全無料化の拡大を求めて、6062人の請願書が議会に提出された。多くの住民の声を無視することは考えられない。どう考えているか。

**市長** 請願として出された6000人の声は重いと考えるが、大きな財政負担がかかるのも事実である。あま市ではいろいろな事業を行っており、それを縮小しても事業として前に進まない。そういった意味でも限界があるが、まずは自主財源の確保に努めていきたい。

## 仮称「市民活動センター」の早いオープンを

**問** スケジュールには9月議会に設置条例、補正予算の提案とあり、12月議会には指定管理者提案と書いてあるが、なぜ開設準備が遅れているの

か。  
**企画財政部長** まちづくり委員会の検討結果をできる限り尊重しながら、取り組みを進めていきたい。

**問** 特に何の分野を期待しているか。

**企画財政部長** 市民などが地域の課題解決、公共の利益、社会貢献を目的として行う自主的、自発的で非営利な活動を期待

している。  
**問** 市民活動団体ができた場合、補助対象になるのか。

**企画財政部長** 公募型ではあるが、あま市市民活動推進事業補助金制度があり、社会貢献性を有する市民活動団体などへの事業であれば、補助対象になると考えている。

**問** 市民活動には情報の共有が大事であり、市民も会社も期待している。センターに対する期待・

**決意は。**  
**市長** 新しいサービスのあり方を考えなければいけないということで、新たな公共とも呼ばれる豊かな地域社会の創造に寄与するものと期待している。

そういった中、あま市としては、適切な役割のもとにパートナーシップを組み、連携し、そして協働していくことが大変大切なものと考えている。



市民活動センターの設置候補施設(七宝産業会館)



## まちづくりロードマップの取り組みについて



櫻井 信夫 議員

**問** 新あま市民病院の整備・開院が、当初計画の平成25年度から27年度に遅れたのは、**市民病院事務局長** 当初、既存の場所で建て替えるとする計画であった

が、敷地が狭く駐車場の確保が困難なことから、医療情勢に柔軟に対応できる建設候補地を検討し、用地買収や開発行為許可申請などに時間を要したため、27年度の開院となった。建築工事の工期は、平成27年6月30日、工事完了後に建築確認の完了検査、開発行為許可の完了検査、開設に関する手続、検査機器の移設などの予定である。

**問** 現在のあま市民病院の経営実態は、実質大変な赤字が続いており、あま市一般会計にとって大きな負担となっている。新あま市民病院の開院に向けての経営改善、経営体制および経営方式は、**市民病院事務局長** 新病院の開院を見据えた今後の経営目標を基に、午後診療の開始、救急受け入れ体制の強化、地域医療機関との病診連携の促進、経費の抑制など收支

改善に取り組んでいる。経営体制、経営方式については、現在の地方公営企業法の一部適用、同法の全部適用、指定管理者制度、地方独立行政法人、民間移譲の方式、それぞれの経営形態を引き続き慎重に検討していく。

## 小中学校の給食について



野中 幸夫 議員

**問** 保育園給食に、中国産米が混入していた。これを機に、米を含め、あま市産の食材を小中学校も含めて給食に増やしていくべきでは。

**教育部長** 今回の件を受けて、現在は保育園の主食米にあいちのかおりを使用している。野菜などは、あま市を初め愛知県産の食材をできる限り取り入れている。**問道の駅・軽トラ朝市**などは、生産者の顔が見え、新鮮で、地元産で安心であることから好評である。農家の収入も増えて元気になる。

学校給食でも生産者、産業振興課、給食センターが農産物の情報を共有し、地産地消を進めていくべきではないか。**学校給食センター課長** ことしから、地元の小松菜、ホウレン草、ネギを使用している。地元のものも少なくない。**問道の駅・軽トラ朝市**から自園・自校調理にして、大量仕入れから少量分散にし、生産者に依頼

できる給食にすべきではない。**教育部長** 市としてどういう形にするか検討する。**学校給食センター課長** 美和・七宝の保育園は自園調理をしている。自園調理は温かいものが食べられ非常にいいが、場所、人員、安全性の確保の問題から自園・自校調理は考えていない。**問道の駅・軽トラ朝市**に損害賠償請求は、**教育部長** 他の動向を見ながら検討したい。



甚目寺給食センター





橋口 紀義 議員

**問** 父母らによる子への暴力やネグレクトなどの虐待が深刻である。虐待で亡くなった子の0歳から3歳までが8割を占めている。

## 児童虐待と高齢者虐待について

若年妊娠や望まない妊娠で育児不安を抱え孤立し、虐待に発展している。行政の積極的な支援が必要である。

児童虐待の相談件数・児童相談所への相談件数、児童福祉司の実態、訪問状況はどうか。  
**福祉部長** 虐待等防止ネットワーク協議会を組織し、会議を開催し、11月に街頭啓発を実施し

た。  
虐待相談件数は昨年度56件、今年度10月末現在6件、児童相談所への児童虐待の相談件数は34件。児童福祉司は、面接による助言指導と一時保護などの援助活動を行っている。当市は、児童福祉司2名、児童心理司1名が配置されている。  
**問** 高齢者虐待の大半は、同居している養護者の息子が多く、養護者の監視体制や地域の協力が

必要と考えるが。  
**福祉部長** 認知症介護者教室で癒やしの場を提供するとともに、地域の方々にサポーター養成事業を実施している。  
**心の健康推進について**  
**問** 自殺の原因で健康問題には「うつ」が多い。認知行動療法の病院数と早期発見に役立つ「こころの体温計」の導入は。  
**市民生活部長** 県内には6つの病院・診療所があ



海部児童・障害者相談センター



## 緊急地震速報を聞いたなら



花木 敏行 議員

**問** 地域防災計画では、緊急地震速報をどのように取り入れているか。  
**総務部長** 利用の心得などの周知、広報を行うと記載している。  
**問** 市のホームページを

見ると、速報が流れたときの対処法が何一つ書いていない。今後、具体的にどんな活動をしていくのか。  
**安全安心課長** 姿勢を低く、頭を守り、揺れが収まるまでじっとするシェイクアウト訓練や、行動の重要性について、広報などを行う。  
**問** 8月8日の速報（誤報であったが）で市の対応は。  
**総務部長** 確認後、安全

安心メールなどで情報を提供する準備をしていたが、誤報のため発信しなかった。  
**問** 防災計画に反映するために、市民の方々の行動の聞き取り調査を行う考えは。  
**総務部長** 特に考えてないが、会議などで聞いたところ「改めて行動はとらなかった」が、大多数の意見であった。  
**問** 高度利用緊急地震速報の端末装置は、学校の

放送設備に接続し、速報と同時に児童が避難行動を取ることが可能になるが、導入は。  
**教育長** 七宝地区の公共施設は設置されている。美和・甚目寺地区共にクローバーテレビの電波を受信しており、システム上可能だが、学校だけでなく市全体の施設のこともあり、今後検討する。



## 都市計画道路七宝蟹江線はいつ開通するか



倉橋 博 議員

**問** 県事業に対する市の役割と責務は。  
**建設産業部長** 地元の要望を調整し、市の方向性を決め県に要望する。事業実施に際しては、地元と県の調整役として支援

する。  
**問** いつ県と交渉し、予算をつけ実施できるか。  
**建設産業部長** 地元の協力が一番大切である。地元との合意が得られたら、県に要望したい。  
**問** 七宝蟹江線はいつまでに開通させられるか。  
**建設産業部長** 県は名古屋津島線バイパスを最優先で進めているが、この路線も重要であるので、地元との合意が得られたら早急に進められるよう、

引き続き要望していく。  
**防犯対策について**  
**問** 防犯パトロール隊の数と活動内容は。  
**総務部長** 現在、30団体の登録がある。主に昼夜、住宅周辺をパトロールしている。  
**問** 見守り隊の数と活動内容は。  
**教育部長** 全小学校区にあり、12団体、702名。主に週5日、登下校時に

交通量の多い箇所での児童の見守りや付き添いを行っている。  
**問** 地域の活動を補うための防犯カメラ設置の取り組みは。  
**安全安心課長** 費用対効果の検討はもとより、地域における犯罪情勢や犯罪が発生する場所などを考慮して、防犯カメラの設置を検討していきたい。

## 市税などの徴収および欠損処分について



石田 良雄 議員

**問** 市民からの納税のうち、未納または滞納になっている市税などの徴収対象になる税目は。  
**総務部長** 一般会計の市税、固定資産税、軽自

動車税と特別会計の国民健康保険税の4税。  
**問** 訪問徴収は原則2人だが、納税者の依頼により1人で行くことはないか。  
**収納課長** 急な依頼で、1人で行く場合もある。課の方針は極力複数訪問である。

**問** 市税などの欠損処分に関するものは収納課になっている。市税などの徴収と欠損処分の税目範囲は同じ税目が事務処理されているか。  
**総務部長** 市民税、固定資産税、軽自動車税の3税において税法の規定どおり適正に処理している。

**問** 国民健康保険税を保険医療課で対処するのなら、なぜ事務分掌規則を改正しなかったのか。  
**総務部長** 事務分掌規則は、大きく言うところの課が仕事をやるかということを記載している。市民の利便性も考慮しているので、改正などは考えていない。



収納課窓口



柏原 功 議員

**問** 被災者支援システムの導入により、福島県須賀川市や宮城県山元町の担当者は、罹災証明書のスムーズな発行ができ、義援金の交付などに効果

に、避難所の入退所情報  
を管理するシステム、救  
援物資などの出入庫を管  
理するシステム、仮設住  
宅の入居申請や入退居管  
理を行うシステムがあ  
り、総合的に連動する。  
さらに要援護者管理シス

テムも新たに開発され、  
これらが一括で管理され  
る。安価に導入できると  
聞いたが、いかがか。  
**総務部長** 導入について  
は、今後細かい内容も含  
めての検討が必要である  
と思っている。

**問** 導入に向けて、調査  
研究を続けると同時に、  
インストーラーの入手  
によって、デモシステム  
の体験ができる。調査研  
究のため、ぜひ入手すべ  
きと考えるが、

**安全安心課長** あま市  
に、被災者支援システム  
のインストーラーが交  
付された場合、インター  
ネットを通じて、試験的  
に被災者支援システムの  
操作、運用を行うことが  
可能となる。

今後、震災時の業務体  
制の検討材料となること  
から、市としてインス  
トラーの交付申請を  
検討したい。



被災者支援システムのパンフレット

## 被災者支援システムの早期導入を！

七宝地内を運行する福祉巡回バス



## 巡回バスの運行について



後藤 幸正 議員

**問** この質問は6月定例  
会から連続して質問して  
いる。いかに市民の皆さ  
んの要望が強いが、理解  
いただきたい。この11月  
に、あま市地域公共交通  
会議が開催されたと承知

しているが、進捗状況は  
どうか。運営方法や運行  
路線の検討内容は、  
**企画財政部長** 実施に向  
けての進捗状況は、早期  
実現を目指し、試行期間、  
実施形態、ルート、使用  
車両、運行日、運行時間  
帯および運賃などについ  
て地域公共交通会議で素  
案を提示し、検討してい  
ただいた。運営方法は、  
市が直接行う方法と民間  
事業者へ委託する2案を  
提示し、検討していただ

いている。運行路線は、  
アンケートや、交通会議  
での意見を踏まえ、高齢  
者を中心に、移動に困っ  
ている方々の日常生活を  
支える観点から検討して  
いる。

方も利用していただけた  
らいいのではと考える。  
極力経費は抑えたいと考  
えている。  
**問** 次はこの質問をしな  
くてもいい状況を望む。  
最後に市長に意見を伺い  
たい。  
**市長** 私も終結してい  
ただくのが一番望ましいと  
思う。交通会議が前に進  
んでいることをご理解い  
ただき、慎重に進めたい。

# 追跡

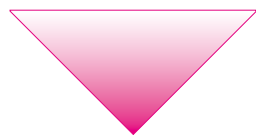
# 一般質問

その後どうなった？

1年前に行われた一般質問の結果を検証します。

## 質問

男女共同参画の意識啓発事業の予定は。

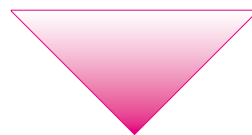


## こうなった

- ・25年度は家事実践講座を3回実施。
- ・男女共同参画サテライトセミナーを3月8日に実施予定。

## 質問

学校プールを旧町1カ所ずつでも開放しては。



## こうなった

25年8月4日から18日まで、七宝小、美和小、甚目寺南小のプールを市内在住の小学生および保護者に開放した。

期間中の利用者は、延べ1,435人。

(七宝小：491人

美和小：315人

甚目寺南小：629人)



家事実践講座の様子



プール開放が実施された七宝小学校

## 意見書を国に提出

○小児慢性疾患の医療費助成の安定を求める意見書

○新聞購読料への消費税軽減税率適用等を求める意見書

12月定例会で議員発議により2件の意見書が提出され、賛成多数により可決しました。

可決した意見書を、国の関係機関に提出し、実現するように要請しました。

ここでは、「小児慢性疾患の医療費助成の安定を求める意見書」についての主な質疑と、討論の内容をお伝えします。

### 主な質疑

**問** 「十分考慮して行うこと」や「十分配慮して行うこと」は、具体的に何か。

**柏原 功** 対象疾患を整理するに当たって、現在認定されている疾患などが外れることのないように、また、助成対象外になった疾患との不公平性を極力小さくするように十分に考慮すること。

社会保障審議会児童部会小児慢性特定疾患児へ

の支援のあり方に関する専門部会の間報告に、重症患者について特に明記されていないが、対象団体などからも医療費の負担が増えることなどが危惧されている。そのため、所得のみで決めるのではなく、重症度においても配慮すること。

**問** 市内に対象者が何人いるか知らずに、この意見書を提案するのはいかがなものか。

**柏原 功** 住民の切実な

### 討論(要旨)

御意見を伺い、意見書に反映させた。

#### 【賛成討論】

**柏原 功** 小児慢性特定疾患は、公平かつ安定的な医療費助成制度として義務づけられていくことにより、高額かつ継続的な医療負担が軽減され、安心して医療を受けることができる。また、小児

慢性特定疾患の対象疾患の拡大により、より多くの小児慢性疾患を抱える家族に対して医療費負担が軽減されることとなる。

現在対象疾患となっていないものが対象から外れることのないように、また、助成対象外となった疾患との不公平性についても極力小さくするように考慮をいただくと必要がある。

また、重症患者、低所得者に対する経済負担の

配慮について、対象団体などから医療費の負担が増えることから生活の不安などが危惧されており、所得のみでなく、重症度においても配慮してもらう必要がある。

#### 【反対討論】

**野中幸夫** 小児慢性疾患を支援する方々は、困難がある人は平等に日常生活や医療の支援を受けられるようにしてほしいと訴えており、極めて具体的な要求をされている。したがって、こうした要求に即した意見書であるべきだと考える。

本意見書案は、国に対して小児慢性疾患の助成拡大に当たって十分に考慮することや、重症患者の皆さんなどに配慮することを求めているだけであり、とても私たちが責任を持ってこの意見書を国に上げていくことはできない。

#### 【反対討論】

**岩本一三** 本会議の質疑に対して誠意ある答弁とは言えず、また、どこかの資料を長々と棒読みされ、意味もぼやけ、我がまちなま市の実情も的確につかまれている。

小児慢性特定疾患に対して、愛知県内では医療政策は行き届いており、現在のところ悲痛な訴えも1件もないとのことである。政府においても、難病および小児慢性疾患に係る公平かつ安定的な医療助成制度の確立を講ずると閣議決定され、平成26年度通常国会に提出すると明言されている。

### 採決結果

賛成多数により、**原案**のとおり可決。

# 議案等審議結果

議案番号	件名	付託先 委員会	委員会の 審査結果	本会議の 議決結果
請願第 4 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（安心して暮らせる年金制度等の確立を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 5 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（後期高齢者医療制度の廃止、患者負担の軽減および国民健康保険制度への財政措置などを求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 6 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（介護保険制度の抜本的改善と介護労働者の処遇改善を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 7 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（安心して子育てできる制度の確立を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 8 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（公立・公的病院の充実、地域医療の再生・充実などを求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 9 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）第 7 条（他の法令による給付との調整）の改正を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 10 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（任意予防接種の定期予防接種化を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 11 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（福祉医療制度を守り、拡充を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 12 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（医療・介護・福祉などの充実を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 13 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（医療提供体制の充実を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 14 号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書（後期高齢者医療制度の改善を求める意見書の提出を求める請願書）	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 15 号	介護保険要支援者への保険給付継続のため、国に意見書提出を求める請願書	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第 16 号	新聞購読料への消費税軽減税率適用等を求める意見書提出に関する請願書	総務文教	賛成多数 採択	賛成多数 採択
請願第 17 号	子ども医療費中学校卒業まで完全無料化を求める請願書	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
陳情第 5 号	女性農業者の農業委員登用に関する要望書	建設産業	賛成多数 採択	賛成多数 採択
陳情第 6 号	設備工事の分離発注について（お願い）	総務文教	全員賛成 採択	賛成多数 採択
発議第 6 号	新聞購読料への消費税軽減税率適用等を求める意見書の提出について	付託省略		賛成:14 反対:11

議案番号	件名	付託先委員会	委員会の審査結果	本会議の議決結果
議案第42号	あま市子ども・子育て会議条例について	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第43号	あま市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	総務文教	賛成多数 原案可決	賛成:20 反対:5
議案第44号	あま市税条例の一部を改正する条例について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:23 反対:2
議案第45号	あま市遺児手当支給条例の一部を改正する条例について	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第46号	あま市産業会館条例の一部を改正する条例について	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第47号	あま市簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例について	建設産業	賛成多数 原案可決	賛成:23 反対:2
議案第48号	あま市下水道条例の一部を改正する条例について	建設産業	賛成多数 原案可決	賛成:23 反対:2
議案第49号	あま市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	建設産業	賛成多数 原案可決	賛成:23 反対:2
議案第50号	あま市下萱津コミュニティ防災センターの指定管理者の指定について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:22 反対:3
議案第51号	あま市坂牧コミュニティ防災センターの指定管理者の指定について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:22 反対:3
議案第52号	あま市上萱津コミュニティ防災センターの指定管理者の指定について	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:22 反対:3
議案第53号	あま市甚目寺産業会館の指定管理者の指定について	建設産業	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第54号	平成25年度あま市一般会計補正予算(第4号)	総務文教	全員賛成 原案可決	賛成:22 反対:3
		厚生	賛成多数 原案可決	
		建設産業	賛成多数 原案可決	
議案第55号	平成25年度あま市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第56号	平成25年度あま市介護保険特別会計補正予算(第2号)	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:25 反対:0
議案第57号	平成25年度あま市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	厚生	全員賛成 原案可決	賛成:24 反対:1
議案第58号	平成25年度あま市病院事業会計補正予算(第2号)	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:22 反対:3
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について(菱田育夫氏)	付託省略		賛成:24 反対:1
発議第5号	小児慢性疾患の医療費助成の安定を求める意見書の提出について	厚生	賛成多数 原案可決	賛成:15 反対:10
請願第2号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(生活保護基準引き下げを中止し、生活保護法「改正」の再提出中止を求める意見書の提出を求める請願書)	厚生	賛成少数 不採択	賛成少数 不採択
請願第3号	介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書(消費税率引き上げ中止を求める意見書の提出を求める請願書)	総務文教	賛成者なし 不採択	賛成少数 不採択

<http://www.city.ama.aichi.jp/gikai/>

○議会中継…本会議での一般質問の様子や最終日の採決の様を、ケーブルテレビのクローバーチャンネル（デジタル111チャンネル）にて放映します。放映は生中継とその日の午後7時から再放送しています。（6月定例会より、インターネットでも録画配信を行っています。）

○会議録検索…本会議や委員会の会議録を公開しています。探したい言葉を入力すれば容易に検索することができます。

# あなたも議会議を傍聴しませんか？

今、あま市ではどんなことが議論されているのだろうか。また、どんな計画があってどう進んでいるのであろう。あなたの身近なことも議会で論議されているのかもしれない。あま市役所甚目寺庁舎3階の議会事務局で、住所・氏名などを記入していただくだけで、誰でも傍聴できます。白熱した質問と答弁を、あなたもぜひ見に来られては…。

音声の間こえにくい方のために、赤外線補聴システムを設置しています。ご希望の方にはヘッドホン付き受信機をお貸ししますので、当日、傍聴受付までお申し出ください。

※12月議会の傍聴者数(委員会含む) 延べ59人

次回の定例会は、2月26日(水)からの予定です。

## インターネット議会中継を



インターネット議会中継のページ

<http://www.ama-city.stream.jfit.co.jp/>

ご利用ください

## 3月定例会予定

2月26日(水)	議案説明
3月4日(火)	一般質問 議案質疑
3月5日(水)	
3月7日(金)	
3月12日(水)	総務文教委員会
3月13日(木)	厚生委員会
3月14日(金)	建設産業委員会
3月25日(火)	討論・採決

※日程は変更となる場合があります。

## 編集後記

あま市議会だよりは、文章の作成や編集など議員自らが行っています。市政をいかに分かりやすく明確にお伝えできるのかと日々努力を重ねております。

昨年は多くの方が傍聴にお見えになりました。新年を迎えて、今度の3月定例会は、新年度の予算など、市の財政がどれだけ計上されるのか大切な議会です。議員の市政への姿がうかがえる場でもあります。

ぜひ議会傍聴においでください。

(加藤)

### 議会だより

編集特別委員会

委員長 石田 良雄  
副委員長 柏原 功

委員 加藤 哲彦  
委員 藤井 定彦  
委員 後藤 幸彦  
委員 横井 正秀  
委員 櫻井 信夫  
委員 伊藤 嘉規  
委員 岩本 一三